



半導体国際会議 GAMS/JSTC 開催報告

電子デバイス部

平成25年9月23日（月）～9月27日（金）：
韓国・済州島

半導体分野では通商、環境、知的財産権等の国際的課題に関し、半導体業界として共通に対処するための国際協議・調整のスキームが確立しています。2月のJSTC会合、5月のWSC/JSTC会合、9月ないしは10月のGAMS/JSTC会合（*1～3）があり、日本、米国、欧州、韓国、チャイニーズタイペイおよび中国の世界6極が定期的に一堂に会し種々の問題解決にあたるように運営されています。JSTC会合、WSC/JSTC会合での議論を通して、業界としての共通課題として認識し、政府に要望すべきものについては、声明という形となり、GAMS/JSTC会合で6極の政府に検討していただくこととなります。検討の結果のフィードバックを受け、さらに必要な場合は民間で検討を重ねるといった形になります。これは半導体業界特有なもので他に類をみないユニークかつ有効な仕組みとなっています。

昨年9月には韓国・済州島にてGAMS/JSTC会合が開催されましたので、そこの活動をご紹介します。

9月の会議においてはJEITAだより秋号でも報告されておりますESH-Committeeの他、民間だけの会議としてJSTCが、また、政府、民間の合同セッションの会議と政府間だけの会議としてGAMSが開催されました。また、JSTCの配下には3つのCommitteeと多数のタスクフォースによって構成されております。まず、主な民間だけのタスクフォース、JSTC会議について紹介させていただきます。

MCO（マルチコンポーネントIC）（*4）：
新型半導体であるMCOを、産業界において継続して無税化を進めるべく活動してお

ります。WTO（World Trade Organization）のITA（情報技術協定）拡大協議とWCO（World Customs Organization）のHS2017改訂へのMCOの提案に関して、産業界としてどのように進めていくかが話し合われました。

模倣品対策：半導体製品について、模倣品が大きな問題となっています。ステークホルダーの問題意識向上のため、日本からポスター作製の提案し、6極で統一したポスターを作成し、掲示を行っていくことになりました。模倣品撲滅のためのWSCが反模倣活動を強化することをGAMSは支持しました。

IP Committee：実用新案については産業界において、制度の協調のための白書が準備されました。各極のWSC代表団の承認を経て、来年の世界半導体会議共同声明、GAMS議長声明につなげていきます。

ESH Committee：資源保護、化学物質、PFC（perfluorocarbon: 地球温暖化ガス的一种）の3つのワーキンググループからなり、様々な環境問題について話し合いました。

その他、特許の質、貿易とイノベーション原則、マーケットレポート、景気刺激策、輸出及び輸入規制、貿易円滑化、WSC2.0について議論されました。

つぎに主な政府間で話し合われた項目について紹介させていただきます。

マルチコンポーネントIC（MCOs）の定義、MCP協定の実施、暗号標準と規制、貿易とイノベーション政策、世界規模の税関と貿易円滑化、情報技術協定（ITA）、環

境上の安全と健康、重要不可欠な物質、模倣品取締りへの取組み、特許の質、実用新案権、営業秘密、非実施事業体（NPEs）、景気刺激策、他。

このように広範な半導体産業にかかわる事項について検討をしております。

今後も業界における様々な問題に取り組んでいきます。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(*1) JSTC (Joint Steering Committee)

企業委員会による実務レベル会合

(*2) WSC (World Semiconductor Council)

半導体企業トップレベル会合

JSTC 提案を審議・承認し且つ必要に応じて各国政府レベルに業界要望を掲げる

(*3) GAMS (Government/Authorities Meeting on Semiconductors)

政府レベル協議で WSC 要望を審議決定する。

(*4) MCO

マルチコンポーネント IC

技術の発展に伴い、モノシリック IC と共に能動素子、受動素子、その他の部品が同一パッケージ内に同梱された新型半導体のこと。

JEITA REPORT vol.08



Activity Report